

# 特別支援学校における生徒への支援・配慮と 就労支援との関係性

～知的障害特別支援学校高等部生徒における個別的教育支援計画の記述から～

○幕内光春

霜田浩信

（埼玉県立本庄特別支援学校）

（群馬大学共同教育学部）

**Keyword：**個別的教育支援計画，支援・配慮，キャリアプランニングマトリックス

【研究の背景と目的】個別的教育支援計画には、学校だけでなく、卒業後の生活（就労）を見据えて必要な支援・配慮事項が記述されている。知的障害特別支援学校（以下、「特別支援学校」と略す）の高等部においては、個別的教育支援計画に基づき生徒の入学当初から卒業後の企業及び福祉作業所での就労を意識させて日頃の指導が進められている。濱名(2020)は、個別的教育的支援のニーズに対応するということは、学習上の困難のみならず日常生活に関わる支援や、就労に関する支援を必要としていることになると述べ、就労を意識して高等部の教育が進められることを指摘している。一方、国立特別支援総合研究所・知的障害のある児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス（試案）」(以下、「マトリックス」と略す)はキャリア発達の目安として作成されており、李他(2020)は（マトリックスの活用による）指導内容・指導方法の一貫性、教員間における共通理解の有用性を検証している。したがって、個別的教育支援計画にマトリックスの視点を入れることは、客観性のある支援・配慮につながるものと考えられ、就労支援においても活用できるのではないと思われる。そこで、本研究は、A 特別支援学校高等部 3 年生 51 名（男子 34 名、女子 17 名）を事例として、個別的教育支援計画における支援・配慮の表記を分析し、支援・配慮の内容がキャリア発達課題の解決を意識したものであるかどうかを明らかにする。なお、本研究実施にあたっては、実施校校長の許可を得た上で、保護者に研究参加の同意を得た。

## 【研究方法】

研究期間：201X 年 4 月～201X+1 年 3 月

研究対象：201X 年度 A 特別支援学校高等部 3 年生 51 名

男子：34 名、女子 17 名

手続き及び内容：201X 年度高等部 3 年生の個別的教育支援計画における特別なニーズ及び合理的配慮の項目から、支援・配慮の記述においてキーワードと考えられる用語を選び、それらを KJ 法で領域ごとに分類した。さらに、分類した記述をマトリックス・高等部において育てたい力の各能力領域の記述と比較し、それらの記述の類似性、内容の関係性を分析した。

【結果】支援・配慮の集計結果は、表 1 のようになった。実践場面の設定(24)、学習機会・環境の設定(24)、成功体験・経験をさせる(17)、具体的方法を伝える・考えさせる(16)等、生徒に行動させて学習させる記述が目立った。また、支援・配慮の内容と関連するマトリックスの能力領域は、表 2 を参照した結果、表 3 のようになった。人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の 4 分野に渡って個別

的教育支援計画の支援・配慮に関する記述が見られたが、情報活用能力に関する領域の支援・配慮の記述はあまり見られなかった。

【考察】個別的教育支援計画における支援・配慮の記述は、人間関係形成能力と意思決定能力に関わる部分が多かった。人とのかかわり、集団参加、意思表示はいずれも職場でのコミュニケーション関わる内容であり、学校生活での支援・配慮は社会での実態に合っているものと思われた。また、目標設定、自己選択、振り返りの意思決定能力の領域は、仕事を進める上で必要なスキルと考えられ、作業学習等の領域を通じてこのスキルを養うために、支援・配慮が重要であると思われた。一方、情報活用能力、将来設計能力の領域は、発達段階での育てたい力に専門知識等に関わるため、生徒のキャリア発達状態によっては活用が難しい内容もあり、個別的教育支援計画に記述が少ないと考えられる。以上のことから、個別的教育支援計画に記述されている支援・配慮は、マトリックスの人間関係形成能力、意思決定能力に関連が深いと思われる。一方、情報活用能力、将来設計能力との関連については、個別の指導計画の職業等の教科における支援・配慮の記述も加えながら補完していく必要があると考えられる。

表 1 支援・配慮上位 10 項目

NO.	支援・配慮の内容	記述数
1	実践場面の設定（他者との関わり・自己選択等）	24
2	学習機会・環境の設定	24
3	成功体験・経験をさせる	17
4	具体的方法を伝える・考えさせる（活動の提示等）	16
5	その都度評価する（ほめる・注意等）	13
6	意思表明機会の設定	13
7	スモールステップ	12
8	視覚的提示（写真・絵カード・タブレット端末等）	10
9	具体的目標（活動・課題）の設定	9
10	声かけ	9
総記述数		212

表 2 マトリックス（抜粋）

能力領域	高等部段階において育てたい力
人間関係形成能力	人とのかかわり（自己理解・他者理解）
	集団参加（協力・仲間）
	意思表現
情報活用能力	挨拶・通関・身だしなみに応じた言動
	様々な情報への関心（情報収集と活用）
	社会資源の活用とマネー（法や制度の活用）
将来設計能力	生涯の強い（生涯の強い）方と管理（消費生活の理解）
	はたらくよきこと（役割の理解と働くことの意義）
	習慣形成
意思決定能力	夢や希望
	やりがい（生きがい・やりがい）
	進路計画
意思決定能力	目標設定
	自己選択（自己選択（決定・責任））
	振り返り（肯定的な自己評価）
意思決定能力	自己調整

表 3 マトリックスとの関連

支援・配慮の内容	関連するキャリアマトリックス
実践場面の設定	人とのかかわり 自己選択
学習機会・環境の設定	やりがい
意思表明機会の設定	意思表現
具体的目標の設定	目標設定
基本的学習習慣	習慣形成
興味のあることに取り組ませる	やりがい
役割の設定	集団参加 はたらくよきこと
自己評価機会の設定	振り返り

（参考文献・引用文献）

濱名元之(2020) 特別支援学校高等部の進路指導に関する研究、四天王寺大学大学院研究編集(14)、56-76  
李他(2020) 特別支援学校におけるキャリア教育とキャリアガイダンス展望、東京学芸大学紀要総合教育科学系 71、663-668

MAKUUCHI Mitsuharu

SHIMODA Hironobu